

ひきこもりに関する全国アンケート調査の報告

平成 26 年 7 月 吉日

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。当会は、国内に 37 の支部がある、唯一のひきこもり家族会です。このたび、平成 25 年 8 月から平成 26 年 3 月まで、厚生労働省の社会福祉推進事業の助成を受け、ひきこもりピアサポーターに求められることを明らかにすることを目的に調査を実施しました。調査対象は、家族 478 名、ひきこもり経験者 140 名、当会の支部 26 団体でした。

主な調査結果

- ひきこもり本人の平均年齢は、33.07±7.87 歳、家族の平均年齢は、62.89±7.12 歳であり、高年齢化が示されました。
- ひきこもり期間は 10.72±6.69 年であり、ひきこもり期間が 20 年以上の人が全体の 1 割近くに及び、ひきこもりの長期化が示されました。
- ひきこもりの高年齢化によって親の年齢も上昇し、年金生活者等が増え、必然的に、経済状況の困難化 (図 2-15) も始まっていることが示されました。

ひきこもりの高年齢化、長期化による問題の深刻化に対する解決法の 1 つとして、ひきこもりサポーターが注目されています。本調査では下記のことが示されました。

- ひきこもりピアサポーターになることについて、ひきこもり経験者の 40.7%が「非常にになりたい」か「少しになりたい」と回答しました。
- ひきこもり経験者がピアサポーターになる場合と家族がなる場合では、求められる支援が異なりました。そのため、ひきこもり経験者がなる場合と経験者の家族がなる場合では、ピアサポーターの養成カリキュラムを変更する必要があります。

※ひきこもりサポーターには、次のようなカリキュラムが求められることが示されました。

ひきこもり経験者： ①体験発表、②居場所・中間施設等への付き添い、

③当事者へのピアカウンセリング、④アウトリーチ、⑤その他

ひきこもり経験者の家族： ①親の会・茶話会等での相談役、

②親へのピアカウンセリング、③アウトリーチ、④その他

お問い合わせ

特定非営利活動法人全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4

Tel: 03-5944-5250 Fax: 03-5944-5290 E-mail: info@khj-h.com

Homepage: <http://www.khj-h.com>